

議 会 報

ふつさ

No. 26

昭和51年1月20日
 福生市議会事務局
 ☎ 0425-51-1511(代)



火の元に注意!!

カラカラ天气が続き、これからが火災の発生しやすい季節です。
 大切な財産を灰にしないよう注意しましょう。

—写真は1月11日 消防団の出初式風景(一小の校庭にて)—

新春にあたって



議 長 貫 井 喜 代 次



副 議 長 川 窪 清 一



輝かしい新春を寿ぎ、謹しんで新年の御挨拶を申し上げます。

昨年の選挙後、新しい議会が発足して八カ月余りが経過いたしました。その間市民の皆さんの温かい御支援と御協力をいただき、おかげさまで五十一年の新春を迎えることができましたことを深く感謝申し上げます。

わが国経済は、過去十数年来高度経済成長を続け、福生市も目をみはる発展を続けてきたのであります。一昨年のオイルショック以来、いままでの社会、経済の流れは大きく変わり、不況に加えてインフレという最悪の状態が年が明けたわけであります。

国の財政はもとより、地方自治体における財政の悪化はさらに深刻の度合いを加え、福生市にとりま

しても、いままです以上に厳しい年であると思われま

す。しかし財政力の乏しい地方自治体ではあっても、年々市政に対する市民の関心は高まり、要望も増大してきておりますので、理事者どもども健全財政を堅持しつつ、一方においてはより一層国等に働きかけ、市民の皆さんの信託にこたえていきたいと思

います。そして福生市の名実ともに真の社会福祉の基

礎づくりのため、議決機関である福生市議会という

立場から市政の諸問題を慎重に審査し、御期待に沿うよう努力していきたいと存じます。

本年も何とぞ市民の皆さんの御指導と御協力をお願い申し上げます。皆さんの御健康と御繁栄を心から祈りいたしました。年頭の御挨拶といたします。

議 員

- 原 敏子
- 原 山
- 松 生
- 原 武男
- 村 治男
- 森 栄次
- 村 尾
- 鈴 木 藤次郎
- 山 崎 良之助
- 竹 田 政勝
- 指 田 保
- 宇 佐 美良
- 田 村 市郎
- 小 林 菊三
- 小 堺 仁七
- 関 米 吉
- 東 正 治
- 大 野 行 夫
- 宮 沢 良 一
- 高 波 忠 男
- 末 次 性 博
- 岩 田 性 博
- 塩 野 鉄 之 助

10月

議 会 日 誌

- 7日 仮称市民会館及び公民館建設特別委員会
- 8日 厚生、総務委員会視察
- 9日 福生市基本構想審議会
- 14日 仮称市民会館及び公民館建設特別委員会
- 15日 野球関東大会
- 15日 厚生委員会行政視察(16日まで)
- 17日 三多摩上下水役員会
- 18日 議会運営委員会
- 18日 横田基地対策特別委員会
- 20日 全国議長会社会文教委員会
- 20日 東京都市収益事業組合議会
- 20日 議会報編集会議
- 23日 第五回臨時会
- 24日 全員協議会
- 24日 青梅・羽村・福生地区都市下水路組合議会
- 27日 福生市ゴミ減量運動対策協議会
- 27日 仮称市民会館及び公民館建設特別委員会
- 28日 西多摩農業共済事務組合議会
- 29日 一市二町ソフトボール大会
- 30日 総務委員会
- 31日 福生市基本構想審議会
- 11月 1日 東京都市収益事業組合議会陳情
- 11月 1日 仮称市民会館及び公民館

5,370万円の黒字

= 49年度一般会計決算 =

2日目の本会議で委員21人の「昭和49年度福生市一般会計決算審査特別委員会」をつくり、18日に委員会を開き、塩野鉄之助委員長、宮沢良一副委員長の進行で、長時間にわたり活発な質疑が行われました。最終日の本会議に委員長からの経過報告がされ、賛成と反対の意見があり、起立採決の結果、20対2で認定されました。

十二月十一日 午前十時に議長の開会宣言によって議事活動が始まりました。この日は七人から市政全般にわたって、理事者側に対する鋭い一般質問が活発に行われ、午後六時三十分一日目を終わりました。

十二月十二日 二日目には理事者側から提出された七会計の四十九年度決算をはじめ、条例や予算など十件と、住民から出された請願、陳情九件の審議に入りました。

昭和六十年代の像「活力ある市民のまち福生市」を築くための、福生市基本構想の制定案が提出され、議会として、委員十九名の特別委員会をつくらせて審査することにしました。四十九年度一般会計決算も委員二十一名の特別委員会をつくらせて審査することにして、二条例を可決、そのほかの案件はすべて総務建設、厚生三委員会に付託した後、午後三時十五分に終了いたしました。

第 4 回 定 例 会

十二月二十五日 二日目に委員会付託となった案件につき、経過と結果が各委員長から報告され、四十九年度一般会計決算は賛成と反対の討論があり、起立採決の結果二十対二で原案どおり認定、そのほかはそれぞれ原案どおり認定、可決されました。又住民からの請願、陳情については、結論づけられた四件のうち二件を全員一致で採択、二件を賛成少数で不採択と決定いたしました。

次に新たに出された議員からの意見書案二件、市長からの条例改正案二件と契約案一件を原案どおり審査、住民からの請願二件は担当委員会に付託して継続審査となりました。

なお、今会期中に結論に至らなかった福生市基本構想の制定について、及び請願、陳情は今後継続して審査していくことを決めて午後二時十八分に終わり、第四回目の定例会を閉会いたしました。

審 議 日 程

12月 11日	本会議 一般質問	5日	建設特別委員会視察 総務委員会行政視察(6日まで)
12月 12日	本会議 議案審査 基本構想特別委員会	6日	全国競輪主催地議会議長 会臨時総会
15日	総務委員会	8日	議会運営委員会
16日	建設委員会	9日	横田基地対策特別委員会 行政視察(11日まで)
17日	厚生委員会	12日	第六回臨時会、全員協議 会、三多摩上下水(第三 委員会)
18日	決算特別委員会	13日	都議長会定例会
22日	議会運営委員会	18日	東京都市収益事業組合議 会
25日	本会議 委員会審査 報告	19日	議員と加美平審議会との 懇談会、全員協議会
		20日	総務委員会、三多摩上下 水(第三委員会)、福生 市基本構想審議会
		25日	多摩地区離対協陳情 福生市ゴミ減量運動対策 協議会
		26日	協議会

質 疑

滞納減に口座制度も利用

問 市税の滞納がふえてきているが、この滞納処理の考え方や市税の収入率アップのための電算機の応用や人員面において、積極的な対策をとる考えはあるか。

答 電算機を応用して早期に情報を得た上で、一日も早く滞納者に督促すると同時に、本年度から実施した口座制度の利用により滞納を減らしていきたい。又収入額は不況下でも昨年より上回っている。この状態を続けるよう努力しているが、その点は十分

配慮したい。

問 市税の不納欠損の内訳と当市で不均一課税を実施した場合の税収見直しはどうか。

答 不納欠損は滞納処分関係で総額五十一万二千余円の二百七十九件、時効関係で総額十二万七千余円の八十五件である。又不均一課税を実施した場合一千九百二十三万円程度の増収となる。

問 軽自動車税の外人分の該当台数と日本人並み課税した場合の推定額を伺いたい。

答 バイクでは五〇cc以下十台、九〇cc以下三十七台、一二五cc以下三十二台、二五〇cc以下四十四台、二五〇cc以上百八十一台、軽四輪の貨物百六台、乗用

補助金を洗い直せ

問 各種団体に対する補助金を洗い直して、現実には有名無実な団体への補助を打ち切って財源の節約をしてはどうか。

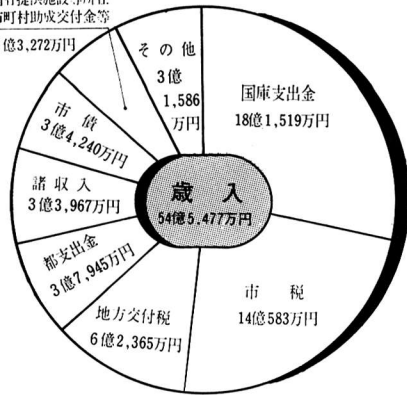
答 市の行財政プロジェクトチームで検討して、五十一年度予算編成までに洗い直して打ち切るものは打ち切りたい。

問 市営住宅入居者のうち収入超過による割増家賃をとっている件数と収入超過者に対しての働きかけの義務が生じていることの通知を出したことがあるか。

答 収入超過者は市営住宅

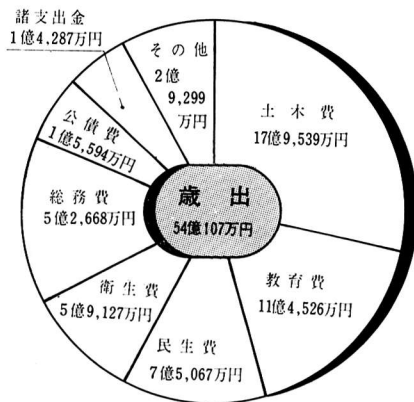
12月 1日	三多摩上下水常任委員会	11日	第四回定例会(第一日目) 全員協議会
2日	福生市ゴミ減量運動対策協議会	10日	仮称市民会館及び公民館 建設特別委員会
3日	福生市国民健康保険運営協議会	8日	福生伝染病院組合議会
4日	青梅・羽村・福生地区都市水路組合議会視察	6日	議会運営委員会
5日	全国議長会社会文教委員会、全国基地協議会総会	5日	

国有提供施設等所在
市町村助成交付金等
2億3,272万円



歳入歳出款別決算表昭和49年度

(歳入歳出差引残額 5,369万余円)



収入率・執行率ともに低下

国庫補助金の減が影響

— 監査意見から —

決算総額は歳入54億 5,476万余円、歳出54億107万余円で実質収支額は 5,369万余円の黒字であるが、前年度の実質収支額を差し引いた単年度収支は 6,710万余円の赤字となっている。

《歳入》 予算に対する収入率は 79.74%で、前年度比の16.75%減である。

この減の主原因は、国庫支出金の武蔵野幹線排水整備事業の収入率が大幅に低下したためである。これが一般会計の収入率を 20.15%低下させた要因となっている。

《歳出》 予算に対する執行率は78.95%と悪く、前年度比14.67%の低下となっている。

この主原因は、予算構成比46.6%を占める武蔵野幹線排水路費を含む土木費の執行率が 56.28%と低いためであるが、その他12科目の平均は98.8%であり、その執行率は良好である。

宅百六十九軒中八十軒あり、明け渡し努力の義務が生じている者には通知を出している。又高額所得者については期限付の明け渡し請求もできるが、現在市営住宅建替を前提にしており、その点を考慮し強硬手段はとらない。

問 基地関係の電気、ガス税はどの程度の額になるか。又基地交付金関係で予算要求をする際、どの程度の試算で要求しているか。

答 基地関係の電気、ガス税は四十九年度が一千三百八十六万余円である。又基地交付金関係は、現在の税法で計算した基地内の土地について七億二千五百二十万余円。基地があるために周辺地域が減税になっている分が三千八百七十万余円。国有地として未提供部分の減収分として二千九百四十万余円。

基地内の建物分が三千余万円。同じく工作機械その他で二千七百九十余万円の試算となる。

問 市民生活安定緊急対策本部は現在も活動しているのか。

答 設置後二年経過し、現在高値安定ながら物価もある程度の安定をみたと思われ、十一月末をもって廃止し、物価対策は経済課で取り組んでいる。

問 防衛補助金等総額十五億九千五百余万円を獲得している裏には、市長が相当活動している。これに対し二百万円の交際費はあまりにも少ないと思う。

答 秘書職員課長 確かに多くの補助金等を獲得するにはそれ相当の経費がかかるのは当然であり、五十一年度予算では検討したい。

討 論

反対 インフレ、不況、物価高から市民を守り、又地方自治体危機の真の原因を明らかにして、政府に対してこの解決を強く要求すべきである。

又、本決算においては財源確保の一方である法人市民税の不均衡課税を行わないし、米軍に対する軽自動車税の不当な減免の是正もしていない等、大企業や基地に奉仕する行政運営が行われている。都市下水路組合負担金や各種団体への補助金、負担金の洗い直しを行っていない。物不足のときに設置した市民生活安定緊急対策本部の機能が停止し、かけ声だけに終わっている。市長等の交際費

賛 成

が多過ぎる等の問題を含む本決算に対して反対するものである。本決算は決算審査特別委員会でも慎重に検討され、又監査委員の監査も詳細に行われている。

昭和四十九年度は燃料の高とう等高度成長時代から低成長時代への切りかえの年であったが、監査委員からは、土木費関係で執行率の低いものもあったが、そのほかは九八・八%というりっぱな執行率がなされているという意見もある。

- 28日 第四回定例会(第二日目) 全員協議会、福生市基本構想審査特別委員会
- 27日 横田基地対策特別委員会
- 25日 総務委員会
- 24日 建設委員会
- 22日 厚生委員会
- 21日 昭和四十九年度福生市一般会計決算審査特別委員会
- 20日 防衛庁陳情
- 19日 西多摩衛生組合協議会
- 18日 青梅・羽村・福生地区都市下水路組合協議会
- 17日 狭山火葬場組合協議会
- 16日 御用納め
- 15日 防衛関係国家予算獲得運動陳情(29日まで)

一 般 質 問

第4回定例会では
7名の議員が一般質
問を行いました。

プロジェクトチームで 行財政の洗い直しする

質問 最近の経済は低成長、不況下でますます深刻さをたどってきている。又全国の地方自治体の財政も未曾有の危機に直面し、あらゆる方面から総洗いをし、節減対策を考えている実情である。当市の財源も国や都に依存するものが多く、今後一層悪化はしても好転することは期待できないものである。そこで、

①このような財政難に対処するための委員会をつくって、財政の総洗いを必要があると思うかどうか。

②予算の半分は建設事業であり、最近の建設資材の値下がりのとときそ事業費の節減をはかるべきだと思ふが、その考えはあるか。

か。

③五十一年度予算の編成方針と事業計画について聞きたい。

④仮称市民会館建設の現況と財源確保について伺いたい。

市長 ①当市も財政難であり、行財政プロジェクトチームを十五人で組織したが、今後市財政の洗い直しをしていきたい。

②補助事業については国の単価、単独事業は都の単価を使用しているが、見積り時期と入札時期に相当ずれがあるので、最も近い時期の単価表を使うよう指示している。今後もできるだけ節減するよう督促していきたい。

③五十一年度一般会計予算はまだ確たる数字は出ていないが、七十億円近くなると思う。

基本的姿勢は、財政危機に直面しており、政治、行政も財政の確立がないと運営できないし「入るを削って出るを制する」の徹底であると思う。

そこで自治体の存立の意味は最終的には福祉の充実であり、そのための施設の整備を図ることが一番大切である。そうした観点からやはり防衛施設庁の補助で、施設の建設、整備を進めていくのが当市の道だと思ふし、五十一年度も防衛施設庁の建設事業が大きな比重を占めることになる。

教委庶務課長 ②当初予算を編成した時点より建築単価も安くなつてきており、先口行った六小増

築工事の入札でも三万円ぐらい下がっている。

④建設も遅れ迷惑をかけているが、いまの施設を一月十六日まで工期で取り壊している。今後最終設計が終わり次第補助申請をしておそくも一月二十五日頃までには入札したい。工期も短いので延長するような事態も出てくると思う

これらの財源は、面積六千五百九十平方メートル、建築費約十五億三千二百八十四千円の見積りで、起債として六億六千三百九十万円

第4回定例会を 傍聴された方々

(敬称略)

- 須釜 亮次郎
- 近藤 厚司
- 森山 昭三
- 山本 紀一郎
- 村内 昭進
- 小林 勇吉
- 長岡 勇子
- 橘 歌子
- 山中 歌子
- 原田 歌子
- 松本 歌子



- 森下 良英
- 井梅 栄三
- 野島 良作
- 大野 春利
- 徳三郎 勉
- 佐藤 英一郎
- 田村 村木
- 渡辺 仁
- 前地 秀子
- 高戸 正子
- 関 利子

商工業振興は 側面から援助する

質問 国内経済は不況とインフレという異常な情勢下にあり、特に中小零細企業はきわめて厳しい事態にある。大資本デパートの進出の激しい立川市や八王子市の商業圏に挾撃される位置にある当市は、診断書によると周辺住民の約

が確保できる予定で、国の補助が約六億二千九万八千円、市の一般財源として約二億三千九百八万六千円の財源内訳である。

企画財政課長 ③五十一年度の建設事業計画として、現在進めている仮称市民会館の建設のほか、学習等併用施設を二カ所、図書館の建設などを防衛施設庁に要望しているが、大きな図書館は補助対象にはないので、対象項目設置の運動をし、五十二年度には建設できるようにしたい。

半分が他市で買物している。消費者の立場から、近くて便利、しかも楽しく満足できる商業都市福生にしなければならぬと思う。そこで当市の商業育成、振興をどう考えているのか。又福生駅東口区画整理に関連して、東口商店街の診断を関係者と一体となつてやるべきだと思ふがどうか。

市長 行政は市全域の市民生活に関係するすべてが対象であり、

商業者と消費者は相反する部分もある。行政上大きな矛盾を持っている。しかし駅周辺は当市の中心であり重要であることは認識しており、商工業育成の立場から商工会の機能、役割りを強化することだと思ふ。それには財政的にできるだけ援助し、制度資金融資の拡充を検討していきたい。又駅周辺の商工業発展のため商業診断など賛成であり、そのための予算化もしたい。福生駅東口自由通路も来年には着手できる予定で、商業圏の改革にもつながると思う。

経済課長 法で商工会ができており市から人件費分を助成している。又商工業振興策として中小企業者への融資制度ができて五年、その間四回利用者側に立った改正を行い、年々利用者もふえ、今年度は二十一件の二千二十万円となっている。申し込みがあつた場合の審査会は、商工会や金融機関で調査して融資決定をするが、現在三百万円以上の保証協会の保証付きを、すべての資金にもするかどうかは今後検討していきたいと思ふ。

福生駅東口の区画整理によって商業者にとつても大転換期となり、今後面的開発が期待され、早急に地元関係者と協議をして商業診断などをし、又西口商店も関心度が高まっているので、できれば並行して診断をやっていききたいと思ふ。

非行化防止は 現状をつかんで

現状をつかんで

質問 去る十一月の新聞に市立中学校の一部生徒による非行問題が報道され、多くの市民に衝撃を与えたが、青少年の非行化問題は当市だけの問題でなく、現代社会の一般化問題である。この青少年の非行化防止に当たっては、家庭や地域社会が中心となつて運動を展開することが大切である。今回の事件を契機に、福栄や鍋ヶ谷戸地区に少年野球チームが結成されスポーツを通じて青少年の健全育成の努力が行われているが、市は今後どう受けとめ、助成を図る考えか。又福生市青少年問題協議会の組織改正を九月に行つたが、その後の運営状況を聞きたい。

市長 青少年問題は重要であり又非常に取り扱いがむずかしいが、しかし市行政としてもやらなければならない問題である。少年野球チームが結成され、市民の自主的な活動が行われることはありがたいことであり、効果があると思う。そうした現状の把握、指導者の派遣、施設の整備などが市の態度であると思う。

青少年問題協議会を先日開き、今後の運動方針など協議したが、この協議会は一線だけで活動するのではなく、関係団体との連絡とか将来の基本がねらいであり、東京

都の方針に沿つて活動していきたいと思う。

教委社会教育課長 社会体育、社会教育などの活動は、その施設の整備が必要であり、青少年野球や文化面などの行事をバランスも考へて多く開き、青少年の健全育成を援助していくことだと思ふ。十二月六日に改正後初の青少年問題協議会を開き、現在やっている計画や今後の課題などについて意

限度額を引き下げ 福祉面に回したい

納期前納付報奨金

質問 四十八年暮れの石油ショック以来、日本経済は不況とインフレで、その影響は社会的弱者が一番受けている状況である。

地方税法の規定によつて当市でも市民税の納期前に納めた者に報奨金を出しているが、納期前に納められるのは社会的強者だと思ふ。この際この報奨金(五十年年度予算額四百九十万円)制度の再検討をし、社会的弱者への救済財源としたらどうか。

市長 納税は義務であり、時期的に見てそろそろ検討すべき段階だと思ふ。とりあえず現在の最高限度額二十五万円を下げたらどうかと考へており、残った分もできるだけ福祉面に回すようにしたいと考へている。

税務課長 都下各市のほとんど

見を聞いた。二月頃にこれら具体的な問題を煮詰めていきたいと思つている。又社会教育活動の機会を多く持ち、青少年スポーツ活動の実態を把握し、どう育成していくか検討していきたい。

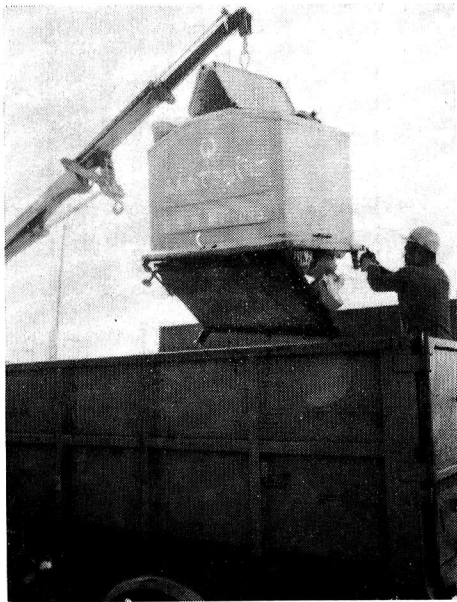
助役 昭和四十一年に「家庭の口」を青少年問題協議会が制定したが、その後社会、経済情勢も変わったので、これをどうするかは協議会に諮つて決めたいと思ふ。

ふやさない考え

ダストボックス

質問 地方自治体にとつてごみ問題は悩みの多い行政であり、その処理は一日の猶予も許されない状態だが、当市がいち早く処理体制を整えたのは結構なことである。

当市のじん芥収集は、ポリバケツとダストボックスによる方法で行われているが、ポリバケツ収集の所では適当な場所があればダストボックス収集を望んでいる。美観上からも今後ダストボックスを増設する考えがあるか。又近年の自動販売機の普及によつて、空かんなどが相当散乱しているので市内の美化、住



悩み多いボックス収集

民のモラル向上のためにも各要所に小型の公衆用ごみ容器を設置したらどうか。

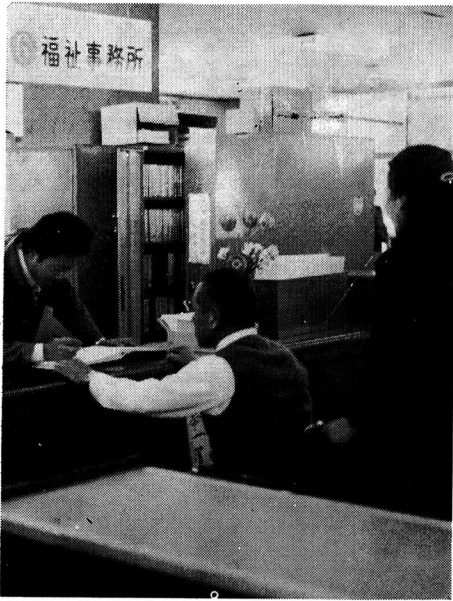
市長 ダストボックス収集も悪い面もあるようである。又公衆用ごみ箱は結構なことなので前向きに研究していきたい。

環境保全課長 ごみ処理問題は人口の増加とともに今後ますます困難となりつつあり、不燃物処理穴の付近住民からも強い苦情が出ており、都下の関係市と協議を重ねている現状である。現在ダストボックスを三百六十個置いてあるが、不燃物と可燃物を混合して捨てられるので、その処理に焼却場でも困つており、分割にするようPRしても徹底しない現状である。又交通上の関係、耐用年数が短く価格も高いため、市全域に置くくと約一億円がかかる。又収集車の能力の問題などがあるので、今後は増設せず、ポリバケツの毎日収集で処理していきたい。

遺児家庭の援助は 社会福祉協議会から

社会福祉協議会から

質問 突然の交通事故によつて苦悩のどん底に落ち、不況、インフレの波をまともに受けている交通遺児家庭は、全国で六万世帯もあるといわれ、その半分は生活保護を受けているといわれている。当市におけるこうした世帯の救済措置をとる考えがあるか。



身障者手帳の申請を(福祉事務所の窓口)

福祉事務所長 遺児と母子家庭は同じと思われ、当市には約二百世帯、このうち交通遺児家庭が二十世帯程度いると思う。遺児に対する市独自の対策はないが、生活保護家庭以外の母子家庭には、社会福祉協議会から民生委員とも相談し、夏期、冬期の見舞金が重点的に配付されている。そのほか母子福祉協議会への助成金や入学、卒業時のお祝いを出している。

まだ基礎づくり段階

弱者救済はその後に

質問 障害者をかかえた母親の愛情あふれる看護を見るにつけ、又陰の力となって働くホームヘルパーの方々こそが功労に値するものである。

①現在市では必要に応じ義手、義足を与えているが、人によっては車いすが適当と思われる人もおり、再検討して与える考えはないか。

②今後できる学習等供用施設に図書室ができるようだが、身障者も利用できるような計画になっているか。

③身障者の自動車税の減免が申告によってできるが、もつと活用するよう対策をとると同時に、自動車のない人にはハイヤー程度で助成をしたらどうか。

市長 公共施設の整っている市では、弱者救済の福祉もできるが、当市は真の福祉行政を進めるための基礎づくりの段階であり、市民全体の施設が完備されるまでは、他市にぬきんでた福祉行政はむず

かしいということである。又真の福祉を進めるには経済面はもとより良き指導者の養成が必要であり、心の福祉が大切であると思う。

福祉事務所長 ①当市には「福生市身体障害者福祉協会」があり活発な活動をしている。車いすの件も役所に二台あるが利用はされていない状態ではあるが、市では必ず身体障害者手帳を持つよう指導しているが、年一回の相談にこない人もいる。車いすを貸与するにしても一時的でなく生涯貸与となり、そういう人にも貸与するかという問題もある。一応何台か貸

し出し用として備えていきたいと思う。

②加美地区にできる学習等供用施設も障害者が使用できるよう設計されており、利用されることを望んでいる。

③障害者自身の車は税金の免除制度があるが、身障手帳を交付する際、都からパンフレットが配付されており、できるだけ利用するようPRしたいと思う。又助成する場合に車のない家庭はどうするかが大きな問題であり、今後検討していきたい。

**母子家庭等の入居
市営住宅建替えに配慮**

質問 憲法下では男女平等が保障されているが、職場における婦女子の地位は男性に比べて低く、家庭における生活も不安定といわざるを得ない。これらのことを考え、母子家庭への住宅手当支給の考えはあるか。又、市営住宅に優先入居させる考えはないか。

福祉事務所長 現在市営住宅の建て替え計画を進めており、空家があっても入居できないが、新住宅が完成すれば優先入居できるようにするとともに、身障者家庭の関係もつくつてもらおうよう提言し

**議会を傍聴
しましょう
次の定例会は
3月に開かれます**

**玉川上水公園はまだ
児童公園はほぼ決る**

質問 都下の一部の市においても建設事業に対する国や都の補助金や市税の落ち込みによって減額予算が出されてきているが、当市はそうしたものもなく財政事情は安定しているものと受け取れるが、九月定例会の一般質問で、

①個人市民税は、本年度は不況と減税から三〇程度の伸びしか期待できない。法人市民税は該当が少なく影響はない。固定資産税は経済変動に関係がないので三〇％前後の増収が期待され、総体的に三千万円程度の増収になる——との答弁であったが、現在もこの見通しに間違いはないか。

②原ヶ谷戸地区の児童公園、玉川上水公園など市民に約束した諸事業は今年度に行えるのか。

③今回の一般会計予算の補正四号で、当市の財政力の指数はどのくらいになるか。

市長 ①四号補正で三千万円以上の増収は可能だとの報告を受けており、そのように認識している。

②公園は多少の期間の延長はあっても本年度補助は得られるものと考えている。

税務課長 ①個人市民税において当初予算との差が税率緩和後で四百三十三万一千円の減額、法人

たいと思う。又住宅手当の支給の考えは持っていないが、週三回都の母子相談員が来ており、場合によれば低利な融資制度をあっせんしているので、これらを利用するのが良いと思う。

市民税は景気落ち込みから均等割税率の緩和後で一千六百二十二万三千円の減額、固定資産税は四千九百九十五万六千円の増額、軽自動車税では三万五千円の減額、電気税、ガス税は六百四十万円の増額、たばこ消費税は当初予算額は確保できる。土地保有税において九万二千円の減額、都市計画税では三百六十三万八千円の増額とそれぞれ予想し、増減差引きして三千九百三十一万三千円の増収となるが、しかし今回の補正予算で五千三百五十万二千円の増額補正をしているので、次回には一千四百八十九万九千円程度の減額補正をしなければならないと思う。

企画財政課長 ②児童公園は今回決定し、事業費が一億五千五百五十三万三千円、国の補助が八千三百五十五万九千円となった。玉川上水公園は建設省と防衛施設庁との調整工作が続けられ、建設省で所管して五十年度で行うような情報を耳にしている。仮称市民会館の公民館分と老人福祉施設部分はまだ決定せず、現在防衛施設庁と大蔵省で折衝しており、ある程度進んでいるようである。

③その市町村の財政力を示す基準となる財政力指数は今回の補正四号で〇・七となっているが、都下二十六市の平均が〇・八で、財政力のある市で一・三四、低い市では〇・四八となっている。又經常的收入で經常的支出をみた場合

五十年年度予算ベースで九六・一%と高く、硬直化しているが、四十九年度決算では八八・九%で、五十年年度決算もこの程度までには下がると見ている。

立場を明確にし 行政に役立てる

—市政モニター—

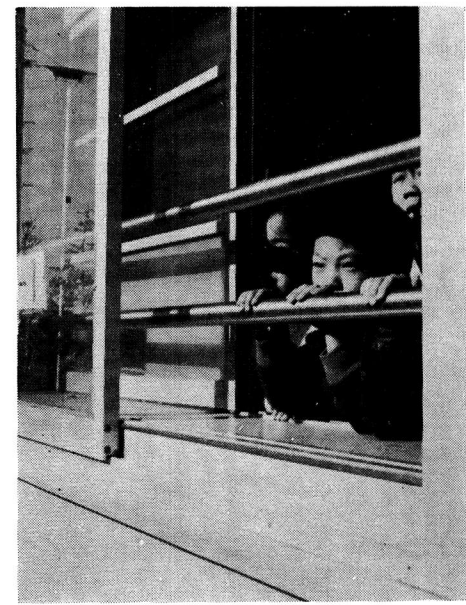
運営状況や、これがどう市政に具

質問 広く住民の意向をくみ上げ、各行政の分野に反映させることは必要かつ重要であり、目的を持ったモニター制度が取り上げられ、大きな成果を上げている。当市でも市政モニター制度ができていますが、そのねらいは何か。これがどう市政に具

現されているか聞きたい。
市長 市民全員がモニターであると思っており、意見などいろいろと聞いている。より多くの意見や要望を積極的に聞き、市政の効率的な運営に役立たいということによって置かれたものであるが、モニターとしての活動範囲にとどめるよう重々気をつけていかなければならないと考えている。

十件あったが、中にはややもすると苦情も多い。要望ではガードレール設置、通学路の舗装などがあり、関係課でも財政的に即実施が困難なものは要望として受け、幾つかは取り入れたものもある。モニターは募集は広報で行い、申し込み順によって地域、年齢、性別などのバランスを考え、五十人を定員としている。以前には部分的な批判もあったので、今後はモニター制度の立場をはっきりさせていきたい。

庶務課長 モニター制度は、公報公聴活動の一環で、個別、集団の公聴収集ができない民意を収集するのが基本的な目的であり、日常の意見や提案、地域の話題などを建設的に出すとか、アンケート調査、施設見学会や懇談会へ出席するといった任務がある。本年度では施設見学、連絡会二回、懇談会三回、モニターからの意見が約六



落ちないような安全さく一六小の窓一

あぶない防音窓

生徒の注意も必要

質問 十二月二日に秋川市の小学校で、児童が窓から転落するという事故が発生したが、当市の学校もすべて防音用二重窓になっているが、窓にさくをして事故防止をしているのは六小、七小だけである。秋川市のような事故が起きないよう事故防止策をとるべきだと思うがどうか。

市長 そうした不祥事が起きないようにするには第一に生徒のしつけだと思う。当市では二校がさくができていただけであるが、完全な防止さくをすると災害時に困るといふ利と害があるので、教育委員会で検討を願ひ、最良策を出



してもらおうようになっていく。教委庶務課長 防音二重窓のさくを六小、七小以外の教室につけるとすると、一教室四万四千円程度かかり、百五十六教室あるので六百八十六万四千円の財源が必要であり、財政側と相談して善処していきたい。又学校側にも十分注意するよう指導していきたいと思

大阪空港裁判

横田基地に関連なし

質問 十一月二十七日の大阪高裁で、航空機公害に苦しむ住民が訴訟を起こし、ほぼ住民の主張通りの判決が出たことは、航空機騒音に悩む住民に希望と勇気を与えた画期的なことである。市長はこの大阪空港公害訴訟の判決をどのように考えているか。又横田基地についても夜間の飛行停止を求める運動を起こす考えがあるか。

市長 被害との因果関係、飛行差しとめなど、大変思い切った判決だと思う。しかし国は最高裁に上告しており、確定したわけではないので注目したい。

大阪空港は民間であり、被害の度合い、規模の大きさなどから見て、例がないほどひどいといわれている。横田基地は米軍基地であり直接関連づけるのはむしろかしいと思う。しかし第三四五戦術空輸中隊の移駐により発着回数がふ

え、市民が大変迷惑を受けているわけ、私も国に対して従来どおり夜間の飛行やエンジンテストをしないよう要望していきたい。又安全保障条約で定められた施設であり、法を守る立場から大阪空港のような運動は控えたいと思っ

保育料の是正は 高額者負担で

質問 ①二カ所の市立保育園で保母が一人ずつ欠員となっておりその影響が保母や子供の保育にきていると思うがどうか。

②つくし保育園の長時間保育は暫定的に託児方式のパートタイムで実施されているが、充実の考えと今後すみれ保育園でも実施する考えかどうか。

市長 ③最近、高福祉高負担ということで、当市も高額のほうであったが、しかし国の基準より低く、これに近づけるために各市でも値上げムードである。今後プロジェクトチームに諮り研究してみたいと思うが、なるべく高額所得者から多くいただくよう是正したらどうかと思っている。

福祉事務所長 ④現在はパート

で補っており、又保母の数が国の基準より多いので、欠員による影響はない。今後適切な保育をいたすよう欠員補充したい。

②つくし保育園において、午前七時三〇分から午後六時までの長時間保育を実施して一月月余りであり、来年度の子供数がどう変わるか、それによって検討していきたい。又すみれ保育園の措置状況等により必要があれば協議していきたいと思う。

③最近では高額から四番目になっており、各市の財政事情や沿革もあると思う。値上げについては決定していない。保育料の基準にはAから高額所得のDまであり、CとDとの市負担を見ると二一%も多く市が高額所得者の分を負担しているということもある

いつ廃止か不安

児童保育の都補助



質問 はたらく婦人の悩みは小学一年生の放課後のことで、親の当然の心配から、かぎっ子を大人の指導のもとで保育しようということから児童保育ができ、最近児童保育所の期待と要求は高まっ

いる。当市でも学区ごとにほしいとか、子供が生き生きする指導をしてほしいという要求があるが、この児童保育をどう考えているか。今後の構想や指導員の待遇等について聞きたい。

市長 婦人の職場進出が著しく、児童保育所の必要は認識をしており、順次つくっていかねばならないし、指導員についても当然考えていかなければならないと思う。

福祉事務所長 昭和四十二年から児童保育を始め、現在四カ所、各定員四十名であるが、ほとんど定員に達しておらず六〇%の出席率である。小学校七校のうち四カ所あり、来年度には四小学区にもできるのでは高くなると思う。都では今後児童館としての児童保育でない補助金は認めないようになり、都の財政事情からいつ廃止になるかわからない。補助率も八〇%だが、四十八年度決算上から見ると五〇%にも満たない現状である。

指導員は現在八人で、社会福祉協議会の職員であり、財政負担の面から非常勤となっている。又労働基準法の各種保険に加入しており、給与も非常勤だがいろいろだと思う。加美地区の学習等供用施設の中に四小学区として児童保育所ができる、指導員も十人となり、社会福祉協議会に一人職員を採用し対処していきたい。

市街化区域農地に対する宅地並み課税の根本的再検討に関する意見書

市街化区域農地の宅地化推進のための三大都市圏のいわゆるA・B農地に対する宅地並み課税が実施されて以来、二カ年余が経過し、その間における社会・経済の情勢も大きく変革しております。とりわけ世界的な食糧不足が叫ばれている中で、国内自給率向上の必要性から、農業の果たす機能、役割りが大きく見直されております。又今

意見書

第四回定例会で意見書二件が議員から提出され可決されました。

昭和五十一年度国民健康保険事業の補助金増額に関する意見書

国民健康保険事業は、昨年度にわたって行われた医療費の改定と、老人医療費無料化による療養給付費の増加、さらに高額療養費の影響をともに受け国民健康保険事業発足以来、最大の財政危機に直面している現状である。

一方、市町村財政もインフレと不況の影響を受け、大幅な税収の落ち込み、事業の縮小等を行い、財政運営に必死の現状か

後の都市農業の確立、農業従事者の安定的継続のためにも地方税法改正にあたって、次の事項についてその実現を強く要望するものであります。一、C農地に対する宅地並み課税は行わない。二、すでに実施されている三大都市圏のA・B農地に対する宅地並み課税についても、根本的に再検討をし、現に農業の用に供する農地については、適用除外とすること。

ら見て、一般会計からの繰入れも限界である。又、保険税(料)の適正賦課及び被保険者資格の適正化等従来実施してきた措置を一層強化し、鋭意努力しているが、今後見込まれる医療費改定並びに自然増を考慮すると極めて困難な状況である。

なにとぞ右の実情を賢察の上昭和五十一年度市町村国民健康保険事業の療養給付費及び事務費等の補助金増額について、適切な予算措置を講ぜられるよう要望する。

第五回 (十月二十三日)

この臨時会に提出された案件は

- ① 工事進行中の武蔵野幹線排水路工事費二億八千四百万円を主に総額約六十七億円となる一般会計補正予算
- ② 現在福生地区を中心として行っている下水道事業会計で二千六百三十六万円の補正をし、総額約四億九千六百万円となる下水道事業会計補正予算
- ③ 廃止となる公益質屋会計

予算で百五十万円の減額補正
④ 又、この質屋廃止による基金条例の廃止

採 択

⑤ 特別会計条例の改正
⑥ 市民から、下水道管敷設の寄付金の申し出(三百六十万円)があったための負担付寄付受納

◇ 請願第五号 農地の宅地並み課税に関する請願書
福生四一九
村野 弘氏 外三四二名
昭50・10・23提出

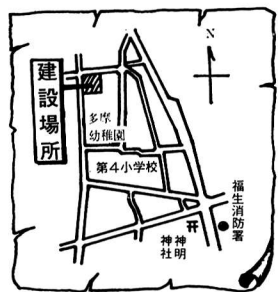
◇ 請願第九号 学童保育の制度化に関する請願書
熊川二九二
島田良許氏 外二〇名
昭50・12・12提出

◇ 陳情第七号 年末手当等に関する陳情書
熊川八三〇 堀場方
西村秀吉氏
昭50・12・12提出

不 採 択

◇ 請願第十一号 付加価値税(売上税)新設反対に関する請願書
牛浜九一
西村理三郎氏 外一九一名
昭50・12・12提出

◇ 陳情第九号 失業対策に由る登録民間日雇労働者に対する年末一時金支給に関する陳情書
立川市曙町二一五一二〇



この施設の面積は約五百六十平方メートル二階建てで、本体工事五千四百七十万円のほか、電気工事等で合計七千八百九十五万円で建設しようとするもので、議員からこの財源はどうするのか。図書室の位置付けについての質疑があり、全員一致で同意されました。
なお、完成は三月ごろの予定です。

請 願 陳 情



継 続

◇ 請願第六号 障害児学級の増設に関する請願書
熊川二四二
森田 剛氏 外八三名
昭50・12・12提出

◇ 請願第七号 中学校における完全給食実施に関する請願書
福生八七一
原嶋卓也氏 外二〇三名
昭50・12・12提出

◇ 請願第八号 市立幼稚園建設に関する請願書
熊川四一一二
二宮一郎氏 外五九〇名
昭50・12・12提出

基本構想審査特別委員会 の正副委員長が決まる

市の将来像となる基本構想の制定案を審査する「福生市基本構想審査特別委員会」が十二日にでき、同日の委員会で正副委員長が、次のように決まりました。
(敬称略)

委員長 岩 田 博
副委員長 小 堺 仁 七

◇ 請願第十号 障害児教育の推進に関する請願書
志茂一八八
高戸正子氏 外一七三六名
昭50・12・12提出

◇ 請願第十二号 福生市交通安全推進委員への被服支給に関する請願書
熊川三四三
高水惣八氏 外四名
昭50・12・25提出

◇ 請願第十三号 保育ママさん制度の実施に関する請願書
福生一五三〇一三三〇三
吉田和子氏 外九四名
昭50・12・25提出

◇ 陳情第八号 田園地区(旧多摩河原区画整理内)農地に関する陳情書
福生四一九
村野 弘氏 外一五三名
昭50・12・12提出

あ と が き

新年あけましておめでとうございます。
巷には冷たい風が吹き、悪い風邪もはやっているようですので十分お体には気をつけてください。今年も昨年以上に御愛読をお願いいたします。

編集委員